

支部便り

北陸支部 春期講演会中堅企業支援セミナー開催報告

A report of seminar on supporting for small and medium enterprise by Hokuriku branch, Japan Institute of Light Metals (Spring annual meeting of Hokuriku branch, 2022)

土屋 大樹

Taiki TSUCHIYA

令和4年6月10日(金)13時から北陸支部令和4年度春期講演会・中堅企業支援セミナーを富山大学にて、開催した。例年のとおり、公益社団法人日本金属学会北陸信越支部、一般社団法人日本鉄鋼協会北陸信越支部、一般社団法人日本機械学会北陸信越支部、公益社団法人日本材料学会北陸信越支部、(一般社団法人日本塑性加工学会北陸支部、公益社団法人日本鋳造工学会北陸支部)の協賛、一般社団法人富山県アルミ産業協会と一般社団法人富山県機電工業会の後援をいただいた。本紙面を借りて御礼申し上げる。

春期講演会・中堅企業支援セミナーは、十分な新型コロナウイルス感染症対策のもとハイブリッド方式での開催となった。講演会の前には、中堅企業支援セミナーとして講演講師、企業幹事の方々と意見交換会を行った。講演会は、オンライン参加63名を含む114名が聴講した。

招待講演はハリタ金属株式会社 代表取締役社長 張田真氏より「循環経済型社会とアルミの可能性」と題して、持続可能な社会実現のために、循環経済型社会実現の必要性、迫りくる資源不足に対して、これまでの3Rからのシフトについて紹介があり、アルミニウムの水平リサイクルに取り組まれた事例をはじめ、数々の成果について講演いただいた。

続いての招待講演は、アルハイテック株式会社 代表取締役社長 水木伸明氏より「水素エネルギーの展望～地方からの展開～」と題して、製造、使用後に廃棄されるアルミニウム製品から効率よく水素を発生させ、燃料電池への供給によりグリーンな電気エネルギーを得る自社技術について紹介いただいた。

最後に企業発表として、株式会社オートネットワーク技術研究所 配線システム研究部 配線材料研究室 第2グループ チームリーダー 大井勇人氏より「自動車電動化に伴う、自動車アルミ配線材の現状と今後」と題して、自動車の燃費向上のための車両重量の低減対策として、自動車の電気配線関係を現在の銅線からアルミニウム線への変換を図り、適材適所でのアルミニウム線の使用、素材開発に取り組まれた成果について紹介いただいた。

今回もハイブリッド方式での開催であったが、多くの聴講者に参加いただき、活発な質疑、討論を行うことができた。改めて関係各位に御礼を申し上げます。



図1 ハリタ金属株式会社 張田 真氏による招待講演



図2 アルハイテック株式会社 水木伸明氏による招待講演



図3 株式会社オートネットワーク技術研究所 大井勇人氏による企業発表